

取組課題		目標	実施結果と目標の達成状況
1	法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。(管理職)	教育委員会からの通知や事案発生時の報道資料等をもとに、不祥事の発生原因となる行為及び県民の誤解や、不信を招く恐れがある行為についての認識を深め各々の行動の振り返りをおこなった。
2	わいせつ・セクハラ行為及びパワハラの防止	わいせつや、セクハラ行為やパワハラを未然に防止する。(生徒支援G)	本校のアンケートなどを通して、わいせつ・セクハラパワハラが発生していないかどうか確認をおこない、未然防止ができています。
3	体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の権利に十分配慮した指導を行う。(生活指導G)	生徒に対するアンケートを確認し、体罰や不適切な指導について適切な対応ができた。
4	入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜、履修指導・登録・成績処理等、調査書等のミス等を未然に防止する。(学習支援G 進路支援G・広報・渉外G)	生徒への履修指導はミスなく行うことができた。
			入選業務については、職員会議でのマニュアルの読み込みなど行ったが、誰が何を確認するかなど今一度業務の振り分けが必要であった。
5	個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。(管理運営G)	個人情報については、情報保護規定に則って保存することができている。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守する。(管理職)	打合せ等を利用し、啓発を行った。
7	会計事務等の適正執行	適正な私費の徴収・執行を行う。(管理職及び事務長)	会計業務の一元化を目指し、体制を強化することができた。その結果、ミスのない業務できている。
			年2回実施する会計監査は滞りなく行うことができた。
			業者選定委員会を行い、適切な業者を選定することができた。
8	職場のハラスメントの防止	風通しのよい職場環境の構築を目指す。(衛生委員会)	職場の雰囲気も風通しがよくなり、職員の困りごとに対しても早く察知して、具体的な解決に向けて行動することができた。

令和7年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和8年度に取り組むべき課題(学校長意見)
 令和7年度については残念ながら入選業務で大きなミスがあった。これは確認作業の不徹底に起因するものであった。令和8年度においては誰が何をするかを見直し、ミスのない入選業務に取り組む。